



2023年7月10日

日本鉄道労働組合連合会

## J R 東 海 ユ ニ オ ン 「 第 3 2 回 定 期 大 会 」

# 結成30周年の節目の年、組合員の全員参画により運動を推進！！



J R 東 海 ユ ニ オ ン は 7 月 5 日、名 古 屋 市 に お い て、4 年 ぶ り に フ ル ス ペ ッ ク と な る 第 3 2 回 定 期 大 会 を 開 催 し、新 体 制 を 確 立 す る と と も に 向 こ う 1 年 の 運 動 方 針 を 決 定 し た。冒 頭、執 行 部 を 代 表 し て 挨拶 に 立 っ た 尾 内 裕 昭 中 央 執 行 委 員 長 は、3 年 以 上 に わ た る コ ロ ナ 禍 の 中 で も、組 合 員 が 職 場 の 最 前 線 で 業 務 に 精 励 し、‘対 話’を 基 軸 に 組 合 活 動 を

献 身 的 に 行 っ て き た こ と に 謝 意 を 示 し た。「3 月 1 5 日 に J R 東 海 ユ ニ オ ン が 結 成 3 0 周 年 を 迎 え た 中、変 化 が 次 々 と 押 し 寄 せ よ う と も、6 年 目 と な る 中 期 目 標 『U N I O N F U T U R E ⇒ 2 0 2 7』に 基 づ く 全 員 参 画 の 運 動 を 『O N E T E A M』で 前 進 さ せ よ う !」と 力 強 く 訴 え た。

J R 連 合 か ら は 政 所 大 祐 事 務 局 長 と 相 良 夏 樹 組 織 局 長 が 参 画 し、代 表 し て 挨拶 に 立 っ た 政 所 事 務 局 長 は 働 く 者 の 価 値 観 の 変 化、離 職 の 増 加、J R 産 業 が 労 使 と も に 一 体 と な れ て い な い こ と な ど 多 く の 課 題 へ の 対 応 と ‘組 織 の 強 化 ・ 拡 大’の 必 要 性 に 触 れ、‘総 対 話 行 動’に 象 徴 さ れ る 対 話 ・ 世 話 役 活 動 の 重 要 性 を 訴 え た。ま た 職 場 実 態 に 基 づ く 情 報 の 把 握 と 共 有 の さ ら な る 実 践 を 要 請 し た。J R 東 海 会 社 か ら の 来 賓 で あ る 武 田 健 太 郎 副 社 長 か ら は、「経 営 体 力 の 再 強 化」や「業 務 改 革 の 推 進」の 必 要 性 に 触 れ、将 来 宣 言 に 基 づ く 労 使 関 係 を よ り 強 固 な も の に し 困 難 を 乗 り 越 え て い く 旨 の 挨拶 が あ っ た。

議 事 で は、「安 全 の 確 立」「組 織 の 活 性 化」「ハ ー ト フ ル カ ン パ ニ ー の 実 現」を 柱 と す る 運 動 方 針 が 提 起 さ れ、組 合 費 の 改 訂 や 退 職 者 連 絡 会 の 会 費 に か か る 取 り 扱 い 等 の 議 案 も 併 せ て 審 議 さ れ た。質 疑 で は 2 1 名 の 代 議 員 等 か ら、総 対 話 行 動 の あ り 方 や J R 東 海 が 進 め る「業 務 改 革」や「中 央 新 幹 線 計 画」に 関 す る 課 題、衆 院 選 の 動 向 が 注 目 さ れ る 政 治 活 動 等 に 対 し、4 9 件 の 意 見 ・ 要 望 が 出 さ れ た。執 行 部 答 弁 後、総 括 答 弁 に 立 っ た 今 井 孝 治 書 記 長 は、「中 期 目 標 が あ る か ら こ そ 運 動 の 軸 を ぶ ら さ ず 活 動 が で き た。こ れ を 大 事 に し つ つ、組 合 員 一 人 一 人 が 主 役 と な る よ う、中 期 目 標 ・ 後 期 の 運 動 に 取 り 組 む」と 決 意 を 述 べ、す べ て の 議 案 が 満 場 一 致 で 採 択 さ れ た。

本 大 会 で は、長 年 ユ ニ オ ン 運 動 を 牽 引 し て き た 丸 山 知 章 副 委 員 長 や 入 谷 政 治 副 委 員 長 を は じ め 計 7 名 の 専 従 役 員 お よ び 2 名 の 会 計 監 査 員 が 退 任 し た。女 性 や 中 央 新 幹 線 部 門 か ら の 専 従 役 員 を 選 出 す る な ど 新 た な 執 行 部 を 確 立 し、尾 内 委 員 長 の 団 結 が ん ば ろ う で 締 め く ら れ た。



勇退された役員の皆さん



新体制の皆さんと、代表挨拶をする尾内委員長